

## 羽村市定員管理適正化計画の改訂について

(平成28年1月29日策定)

### 1 改訂の理由

羽村市定員管理適正化計画については、平成24年度を初年度とし、平成28年度までの計画期間における市立保育園の民営化や国の地域主権戦略大綱に基づく基礎自治体への権限移譲など様々な行政需要を見込み、定員目標を期初である平成24年度を基準に15人減となる348人とする計画を掲げ、達成に努めてきた。

しかしながら、計画期間中においては、市立保育園の一部で民営化の移行時期が延期となったことや、公共施設等の老朽化対策への取組み、産業振興施策の充実、市史編さんへの取組み、特別支援教育の推進など想定した以上の喫緊の課題や行政需要の増加があったこと、また、まち・ひと・しごと創生総合戦略、社会保障・税番号制度、子ども・子育て新制度、新公会計制度改革、生活困窮者自立支援事業、地域包括ケアシステムの構築などの行政需要が増加したことなど、目標の達成が困難な状況が生じ、昨年度、計画期間の延伸を含む計画の改訂を行い、計画年次を平成29年度に改め、新たな目標定員を平成24年度から6人の減となる357人と改めたところである。

こうした状況の中、今年度は限られた人員により最大の成果を得るべく組織一丸となり行政課題に取り組み、これまでに「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を完了するなど一定の成果をあげてきた一方、次年度から、こうした計画に基づきシティプロモーションの強化に取り組んでいくことや、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた本格的な準備段階に移行すること、また、新たな「産業振興計画」に基づき市内産業振興に向けた取り組みを強化していくことなど、新たな方向性による行政需要が加わり、多くの課題に直面する状況が生じている。

こうした状況を踏まえ、多様化する行政需要に的確に対応し、業務に見合った人員の配置を基本として一層の業務の効率化や組織力の強化を図るとともに、現行の羽村市定員管理適正化計画（平成24年度～平成29年度）を改訂し、平成28年度から平成30年度までの定員目標を改めて設定するものとする。

### 改訂前羽村市定員管理適正化計画

単位：人

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計
目標定員	363	361	354	359	362	357	—
削減数	0	△2	△7	5	3	△5	△6
実績(各年度4月1日現在)	363	358	356	359	—	—	—
目標と実績の差	0	△3	2	0	—	—	—

## 2 羽村市定員管理適正化計画の改訂

平成29年度までの計画期間を1年間延長し、平成28年度から平成30年度までの定員目標を以下のとおり設定するものとする。

なお、計画期間中における社会経済状況の変化等による行政需要への影響については、その都度見直しを行い、必要に応じて計画に反映するものとする。

### 年度ごとの目標定員（改訂後）

単位：人

	H27	H28	H29	H30	合計
目標定員	359	367	367	367	—
増減数	—	8	0	0	8
主な増減要因	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新公会計制度改革</li> <li>・介護予防機能強化推進事業</li> <li>・認知症地域支援推進事業</li> <li>・シティプロモーション推進</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピック推進</li> <li>・社会保障・税番号制度対応</li> <li>・地方創生施策推進</li> <li>・生涯学習基本計画後期計画策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園民営化</li> <li>・下水道事業公営企業化対応</li> <li>・子育て包括支援センター設置</li> <li>・介護保険制度改革対応</li> <li>・障害福祉サービス等指導検査体制強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピック・パラリンピック推進体制強化</li> </ul>	—

### (参考) 職員数の現状分析

羽村市の平成 26 年 4 月現在の総職員数は 356 人、統計上の分類として、一般行政部門では 270 人、普通会計ベースでは 313 人となっている。

類似団体別職員数は、全ての市区町村を対象として、その人口と産業構造を基準に類型分類し、その類型に属する市区町村の人口あたりの職員数の平均により算出する指標である。

地方公共団体定員管理調査（H26.4.1）における類似団体別職員数は普通会計の単純値で 408 人、修正値で 331 人となっている。平成 26 年度の羽村市職員の普通会計の実数は 313 人であり、単純値では 95 人、修正値では 18 人下回っている。

また、羽村市は、類似団体「市Ⅱ－1」の分類に属するが、同分類に属する団体は、全国で 198 団体あり、その中で、人口 1 万人当たりの職員数においては、少ない方から 35 番目となっており、羽村市の職員数は類似団体と比較して適正な範囲に属しているといえる。

### 羽村市の職員数と統計指標の比較

単位：人

区分		職員総数	統計上の分類(地方公共団体定員管理調査)			
			普通会計 +公営企業会計	普通会計	一般行政部門	
			派遣職員除く 教育長除く	派遣職員除く 教育長含む	派遣職員除く 教育長含む	
羽村市職員数(H26.4.1)		356	350	313	270	
指標	類似団体 別職員数	単純値	—	—	408	304
		修正値	—	—	331	293

また、羽村市が属する類似団体「市Ⅱ－1」における都内他市との比較では、人口 1 万人当たりの職員数においては、9 団体中 6 番目となっており、職員数は多い傾向にあるが、類似団体「市Ⅱ－1」の分類については、人口が 5 万人以上 10 万人未満とされていることから、羽村市の人口は 56,837 人であり、都内他市の中で最も人口が少ないことが要因の一つであると考えられ、都内他市との比較においても概ね適正な職員数であるといえる。

### 類似団体「市Ⅱ－1」の都内他市との比較

単位：人

団体名	人口(H26.1.1)	普通会計職員数 (H26.4.1)	人口1万人当たり 職員数
国立市	74,385	406	54.58
福生市	58,821	337	57.29
狛江市	77,923	431	55.31

東大和市	85,297	434	50.88
清瀬市	74,216	404	54.44
武蔵村山市	72,169	340	47.11
稲城市	86,169	501	58.14
あきる野市	81,912	386	47.12
羽村市	56,837	313	55.07

※普通会計職員のうち、消防に属する職員を除く。